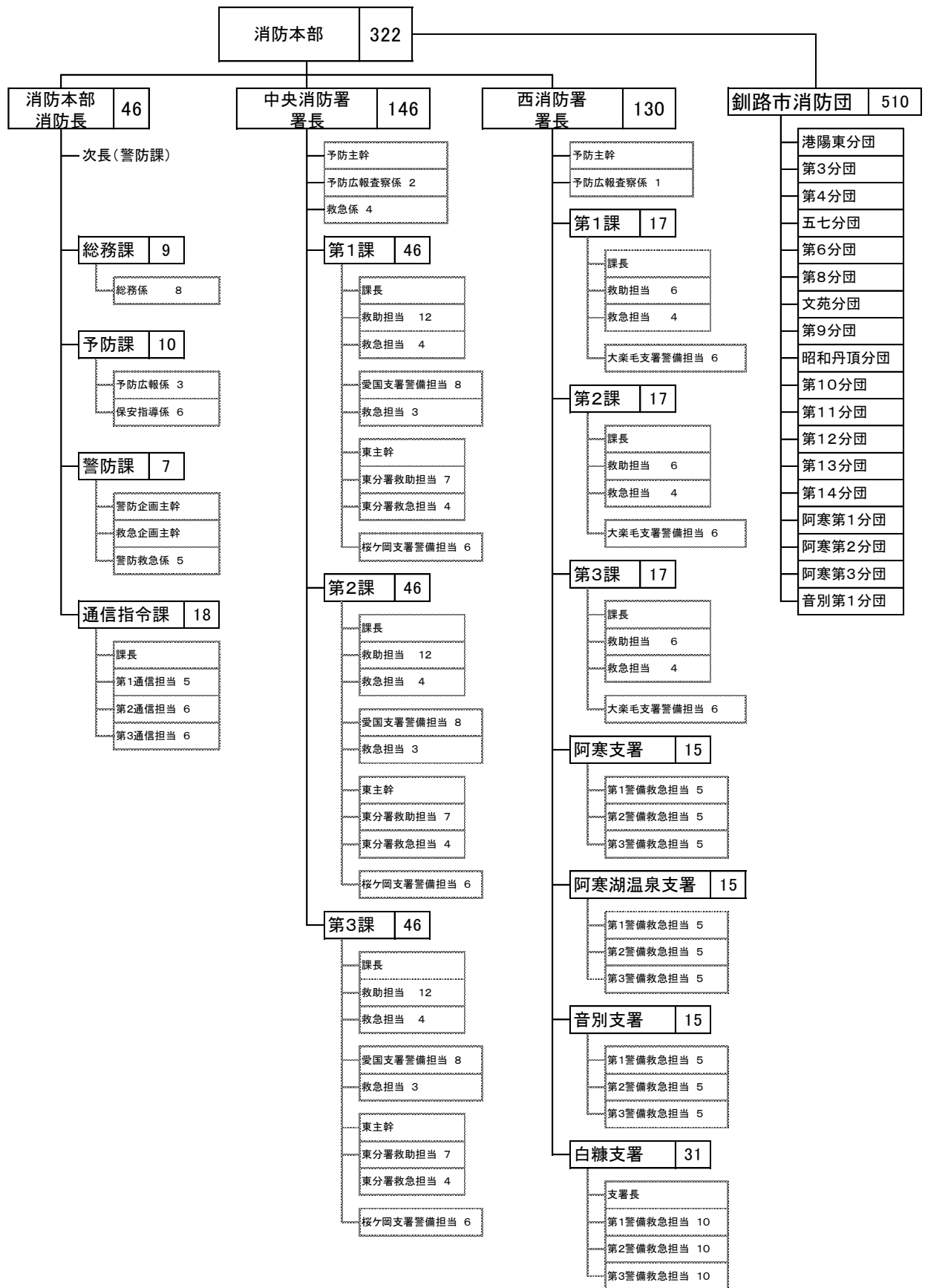


Ⅱ 総務編

1 消防本部・署・支署の所在地（令和7年4月）

	所在地	電話番号	建築面積 (㎡)	延面積 (㎡)	構造	建築 年月日
消防本部	釧路市南浜町4番8号	22-2156	1,670.63	5,766.34	鉄筋コンクリート造 5階建	平成 9.6.11
消防団本部	〃	23-0424	〃	〃	〃	〃
中央消防署	〃	23-0430	〃	〃	〃	〃
愛国支署	〃 文苑4丁目1番1号	37-2422	520.93	1287.64	鉄筋コンクリート造 4階建	平成 26.3.26
東分署	〃 春採7丁目3番9号	46-3488	803.36	1497.83	鉄筋コンクリート造 4階建	平成 25.3.22
桜ヶ岡支署	〃 桜ヶ岡4丁目3番30号	91-6455	298.34	398.96	鉄筋コンクリート造 一部2階建	昭和 57.12.13
西消防署	〃 鳥取南4丁目4番22号	51-1658	906.09	1802.29	鉄筋コンクリート造 4階建	令和 2.10.23
大楽毛支署	〃 大楽毛2丁目4番16号	57-4808	329.67	329.67	木造モルタル造 平屋建	昭和 50.12.1
阿寒支署	〃 阿寒町北新町1丁目5番1号	66-3350	436.73	619.52	鉄筋コンクリート造 一部2階建	昭和 49.12.15
阿寒湖温泉 支署	〃 阿寒町阿寒湖温泉3丁目8番1号	67-2702	884.03	1,317.65	鉄筋コンクリート造 2階建	平成 3.2.5
音別支署	〃 音別町中園1丁目78番地	(01547) 6-2519	611.08	1132.55	鉄筋コンクリート造 2階建	平成 19.7.1
白糠支署	白糠町西1条北4丁目2番地1	(01547) 2-2053	1019.62	2121.22	鉄筋コンクリート造 3階建	令和 2.9.30
釧路市消防団 港陽東分団	釧路市弥生2丁目1番33号	41-4741			旧東栄小学校の一部を 使用	
釧路市消防団 第3分団	〃 千歳町3番13号	41-5646	701.78	829.28	鉄筋コンクリート造 2階建	昭和 52.12.21
釧路市消防団 第4分団	〃 緑ヶ岡1丁目21番1号	41-3297	283.99	499.42	鉄筋コンクリート造 2階建	平成 11.12.10
釧路市消防団 五七分団	〃 寿1丁目1番8号	24-2381	178.86	236.41	木造 2階建	平成 26.12.11
釧路市消防団 第6分団	〃 新富町9番20号	22-3775	278.64	411.48	木造モルタル造 2階建	昭和 51.11.11
釧路市消防団 第8分団	〃 新橋大通3丁目1番6号	22-4255	213.03	303.03	コンクリートブロック造 一部2階建	昭和 46.7.15
釧路市消防団 文苑分団	〃 文苑4丁目1番1号	39-2811			愛国支署に記載	
釧路市消防団 第9分団	〃 鳥取南4丁目4番22号	51-5376			西消防署に記載	
釧路市消防団 昭和丹頂分団	〃 昭和中央6丁目33番1号	55-3100	119.78	204.53	木造モルタル造 2階建	平成 24.2.1
釧路市消防団 第10分団	〃 武佐3丁目1番25号	46-3454	365.31	430.11	木造モルタル造 一部2階建	昭和 49.11.15
釧路市消防団 第11分団	〃 桜ヶ岡4丁目3番30号	91-4131			桜ヶ岡支署に記載	
釧路市消防団 第12分団	〃 大楽毛4丁目6番2号	57-8150	151.20	270.81	木造モルタル造 2階建	昭和 38.12
釧路市消防団 第13分団	〃 山花14線141番地					
釧路市消防団 第14分団	〃 桂恋172番地	91-8799	20.90	20.90	旧桂恋小学校の一部を 使用	平成 17.11.14
釧路市消防団 阿寒第1分団	〃 阿寒町仲町2丁目6番23号		117.00	117.00	鉄骨造 平屋建	昭和 58.12.12
釧路市消防団 阿寒第3分団	〃 阿寒町徹別中央34線8		117.00	117.00	鉄骨造 平屋建	昭和 60.11.28
釧路市消防団 阿寒第2分団	〃 阿寒町阿寒湖温泉3丁目8番1号				阿寒湖温泉支署に記載	
釧路市消防団 音別第1分団	〃 音別町中園1丁目78番地				音別支署に記載	

2 消防の機構（令和7年4月）



3 消防職員の人員・平均年齢（令和7年4月）

階級等 区分	合計	正 監	監	司令長	司 令	司令補	士 長	副士長	士	事 務 吏 員
現 在 員	320	1	3	20	45	101	83	—	66	1
平均年齢	36.9	56.0	55.6	52.8	48.6	40.7	32.9	—	22.1	38.0

4 職員定数の状況

令和6年度定数	増 減 数			令和7年度定数
	減 員	増 員	差 引	
323人	1	—	—1	322人

5 消防本部・署・支署の人員配置（令和7年4月）

階級等 区分		合計	正 監	監	司 令 長	司 令	司 令 補	士 長	副 士 長	消 防 士	事 務 吏 員
合計		320	1	3	20	45	101	83	—	66	1
消防本部	小計	46	1	1	5	10	14	13		1	1
	消防長	1	1								
	総務課	9			1	3	3	1			1
	予防課	10			1	2	3	4			
	警防課	8		1	2	2	2	1			
	通信指令課	18			1	3	6	7		1	
中央消防署	小計	146		1	7	14	48	38		38	
	中央消防署	59		1	4	8	23	13		10	
	愛国支署	33				3	10	9		11	
	東分署	36			3		12	12		9	
	桜ヶ岡支署	18				3	3	4		8	
西消防署	小計	128		1	8	21	39	32		27	
	西消防署	35		1	4	6	8	6		10	
	大楽毛支署	18				3	5	2		8	
	阿寒支署	15			1	2	6	5		1	
	阿寒湖温泉支署	15			1	2	5	7			
	音別支署	15			1	2	5	6		1	
	白糠支署	30			1	6	10	6		7	

6 消防職員採用・退職・昇任（令和7年）

区分	階級等									
	正監	監	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士	事務 吏員	計
採用					1			18		19
再任用										
退職					1	2		1		4
昇任		1	5	9	5	12				32
派遣等(入)										
派遣等(出)					2					2

※ 派遣等には消防本部と市長部局との出入や、北海道への派遣等を含む

7 消防財政

令和7年度は、水槽付消防ポンプ自動車1台、消防ポンプ自動車1台の更新配置が行われ、車両の更なる強化が図られた。

また、消防職団員の教育機関への入校や講師派遣、他部局間との人事交流を実施、人材育成を積極的に推進し、各種災害に的確に対応できるよう万全を期しているところであり、これに要する経費は次のとおりである。

(1) 過去3カ年度消防費当初予算額

区分 年度	市一般会計 予算 A (千円)	消防予算 B (千円)	B/A×100 (%)	市民一人当たり の消防費 (円)	市民一世帯当 りの消防費 (円)
	R5	98,200,000	3,156,344	3.2	20,038
R6	102,000,000	2,997,265	2.9	19,429	32,840
R7	107,400,000	3,141,115	2.9	19,830	33,237

(2) 年度別消防予算

区分 年度	予 算 額 (千円)				
	当初予算額	内 訳			
		常備消防費	非常備消防費	施設費	人件費
R5	3,156,344	283,922	98,457	879,965	1,894,000
R6	2,997,265	257,521	102,314	640,430	1,997,000
R7	3,141,115	275,123	102,318	624,374	2,139,300